様式第２号の１－①【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の１－②を用いること。

学校名	石巻専修大学
設置者名	学校法人専修大学

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
理工学部	食環境学科	夜・通信	12	―	9	21	13	
	生物科学科	夜・通信			3	15		
	機械工学科	夜・通信			20	32		
	情報電子工学科	夜・通信			15	27		
経営学部	経営学科	夜・通信		2	14	28	13	
	情報マネジメント学科	夜・通信			―	14		
人間学部	人間文化学科	夜・通信		2	8	22	13	
	人間教育学科	夜・通信			18	32		

（備考）
2022 年度には、届出により理工学部食環境学科と生物科学科を統合。入学定員の大半が生物科学科に振り分けられることとなる。統合後の生物科学科でも、省令で定める基準単位数は充足する見込みとなっている。

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ【情報公開－IR 情報－実務経験のある教員による授業】
（https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/about/disclosure/#002）

３．要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	石巻専修大学
設置者名	学校法人専修大学

１．理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ （https://www.senshu-u.ac.jp/about/corporation/#001）

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
常勤	元 団体職員	H30.11.3～ R3.11.2 （３年）	文書統括担当、キャリアデザインセンター担当、就職担当、募金副担当
非常勤	現 弁護士 現 学校法人(他法人)役員	H30.11.3～ R3.11.2 （３年）	主に法務関係
非常勤	元 株式会社役員 元 団体役員	H30.11.3～ R3.11.2 （３年）	主に組織運営関係、募金関係
非常勤	現 株式会社役員 現 団体役員	H30.11.3～ R3.11.2 （３年）	主に組織運営関係、募金関係
非常勤	元 公務員 元 株式会社役員	H30.11.3～ R3.11.2 （３年）	主に総務関係、社会連携関係
非常勤	元 公務員 元 団体役員	H30.11.3～ R3.11.2 （３年）	主に卒業生関係
非常勤	現 団体役員	H30.11.3～ R3.11.2 （３年）	主に国際関係、社会連携関係
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	石巻専修大学
設置者名	学校法人専修大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） (1) 授業計画書（シラバスの作成過程） 全学教務委員会及びFD委員会で講義要項（シラバス）作成要領を決定し、教授会及び大学院研究科委員会で確認し、全教員がシラバスの作成を行っている。作成要領には、授業の概要、授業の方法、授業の内容、授業の計画、到達目標、成績評価等の記載例や留意事項等を示している。各教員が作成したシラバスは、学部教務委員会で記載内容の点検（第三者による点検）を行った後、Web システムにて学外にも公表している。 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき各学部･学科の授業科目を編成し、当該年度に開講する授業科目については、全学及び学部教務委員会において計画策定を行っている。 年間の授業計画は、学事暦で定める実授業日数を踏まえ、年間の授業計画を立案し、学修時間の確保している。 (2) 授業計画書の作成・公表時期 作成要領に基づき、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）と教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）との整合性・一貫性を持たせたシラバスを作成することとしている。特に、カリキュラムの中での授業科目の位置づけを履修系統図と関連させて記載し、科目間の体系的な学習の指針としている。また、学習の到達目標、準備学習、事後学習を記載し、学生が目的意識をもって学習する具体的なイメージを持たせ、各教員のオフィスアワーに関する内容を記載し、学生の個別相談や指導に応じている。実務経験のある教員等による授業科目については、項目を設けて記載している。なお、公表時期は当該年度の４月とし、過去５年間のシラバスも閲覧できる。

授業計画書の公表方法	Web 講義要項（シラバス）システム https://isyllabus.acc.senshu-u.ac.jp/syllsenshu/top.do

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。
（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要） 学則で定めた成績評価及び単位付与は、授業科目のシラバスに基づき、授業への貢献度・試験・レポート・小テスト等によって、学生の学習状況を踏まえた総合的な評価を行っている。成績評価の結果は、年２回、学生及び保護者に対して通知し、成績評価の透明性に努めている。また、FD による授業評価アンケートによって、学生の学習状況や時間等の学修行動について確認を行っている。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）

学則で定めている成績評価に基づき GPA 制度を設け、成績評価と GP 及び GPA 算出方法については、学生便覧と本学ホームページで公表している。また、学生に対しては、年度始めの教務ガイダンスで履修登録や履修中止等の手続き、成績評価と GPA 制度についての学修支援に関する説明を行っている。

GPA の客観的な指標については、学修成果の評価の方針（アセスメント・ポリシー）に基づき、学部・学年毎の GPA を算出し、成績の分布状況の把握し、本学ホームページ上で公開している。

GPA 分布・科目毎の単位修得状況等を鑑みて、GPA の指標を設け、平均値及び分布をホームページ上で公開し、個々の学生が学部・学年の中でどの位置にいるか確認できるようにし、学生の履修相談や学修支援にも活用している。

(1)GPA の具体的な内容と算出方法

成績評価は、100 点満点とし、60 点以上を合格としている。授業科目ごとの成績（評価点）に応じてグレードポイント（GP）を付与し、１単位あたりの平均値（GPA）を算出している。

［GPA の算出方法］

① GP＝（評価点－55）／10

② $$\text{GPA}=\frac{\text{（各学期に評価を受けた科目の GP×その科目の単位数）の合計}}{\text{各学期に評価を受けた科目の単位数の合計}}$$

［成績評価の区分］

合否の判定	評価（評価点）	摘要	評点（GP）
合　格	S（90～100 点）	きわめて優秀な水準に達している	3.5～4.5
	A（80～89 点）	優れた水準に達している	2.5～3.4
	B（70～79 点）	ねらい通りの水準に達している	1.5～2.4
	C（60～69 点）	合格に足る水準に達している	0.5～1.4
不合格	F（ 0～59 点）	合格に足る水準に達していない	0

(2)GPA に関する各種要件

・GPA の算出対象となる科目は、卒業要件にかかわる科目とする。
・小数点第２位を四捨五入し、小数点第１位まで表示する。
・履修を取消した科目については、GPA に算出しない。
・不合格（F）の科目を再度履修した場合、成績の合否にかかわらず、GPA には最新の評価が反映される。

(3)GPA の適切な実施状況

・GPA は、上記の算出方法により、前期終了後と後期終了後の年２回算出して、成績通知書に表記して学生に通知している。

客観的な指標の算出方法の公表方法	ホームページ 【情報公開－IR 情報－学修成果－成績評価値（GPA）】 (https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/about/disclosure/#001)

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 卒業の認定方針は、各学部・学科で定めている教育目的及び人材の養成を踏まえ、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）と教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）と入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）との関連性を持たせ策定を行っている。卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）の公表については、学生便覧とホームページ上で公表している。 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）で定めた学士力・資質・能力等は、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）により授業科目との関連付け、履修系統図・カリキュラムマップを作成し、学生に公表している。 また、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）の確認については、学修成果の評価の方針（アセスメント・ポリシー）に基づき、学生生活アンケートや卒業時アンケートを実施して、内部質保証の観点から検証を行うこととしている。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	ホームページ 【情報公開】 (https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/about/disclosure/)

様式第２号の４－①【⑷財務・経営情報の公表（大学・短期大学・高等専門学校）】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の４－②を用いること。

学校名	石巻専修大学
設置者名	学校法人専修大学

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.senshu-u.ac.jp/about/corporation/profile.html
収支計算書又は損益計算書	https://www.senshu-u.ac.jp/about/corporation/profile.html
財産目録	https://www.senshu-u.ac.jp/about/corporation/profile.html
事業報告書	https://www.senshu-u.ac.jp/about/corporation/profile.html
監事による監査報告（書）	https://www.senshu-u.ac.jp/about/corporation/profile.html

２．事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：令和３年度事業計画　対象年度：2021 年度）
公表方法：https://www.senshu-u.ac.jp/about/corporation/profile.html
中長期計画（名称：石巻専修大学　中長期ビジョン　対象年度：2020～2024 年度）
公表方法：https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/about/isu-vision.html

３．教育活動に係る情報

（１）自己点検・評価の結果

公表方法：ホームページ （https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/about/disclosure/inspection.html）

（２）認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：ホームページ （https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/about/disclosure/inspection.html）

（３）学校教育法施行規則第 172 条の２第１項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名　理工学部・経営学部・人間学部
教育研究上の目的（公表方法：ホームページ）
（概要） 【理工学部】理工学部は、基礎科学から応用技術に至る総合的、体系的な教育研究を行い、幅広い教養と専門知識を習得し、人間社会が必要とする多様な情報を科学的に収集・発信できる能力を備え、さまざまな科学技術の課題解決に主体的かつ創造的に貢献できる能力を育てることを教育上の目的とする。 【経営学部】経営学部は、企業経営や地域社会へ貢献できる人材の育成を目的とし、経営学全般の幅広い知識および情報とビジネスに関する知識を身に付けた上で、自ら課題を発見し解決するための思考力、情報を活用し論理的な思考を展開できる能力を修得させる。 【人間学部】人間学部は、人間が創り出した文化と人間の原点である教育を柱とする人間の理解に関する教育研究を通じて、人間存在や人間特性と多様な価値観の理解のもとに、人間支援や地域支援の観点から共生社会を支える人材を広く社会に輩出することで、地域社会の発展と向上に貢献することを教育上の目的とする。
卒業の認定に関する方針（公表方法：ホームページ）
（概要） 【理工学部】 ① 人文・社会・自然科学全般についての幅広い教養を有し、さらに理工学分野における基礎的・専門的な知識・方法論を体系的に習得している。 ② 理工学分野における専門的知識の理解のもと、必要となる情報を収集・分析し、それらを的確に発信できる能力を習得している。 ③ 社会の一員として求められる態度や志向性を身につけ、社会の諸課題解決に主体的に取り組む姿勢を身につけている。 ④ 身につけた教養や学んだ専門分野の知識・技能などを総合的に活用して、さまざまな課題の解決に向けて実践的、創造的に研究できる能力を習得している。 【経営学部】 ① 人文・社会・自然科学全般についての幅広い教養を有し、さらに経営学分野における基礎的な知識を習得している。 ② 経営学分野における専門的知識の理解のもと、必要となる情報を収集・分析し、それらを的確に発信できる能力を習得している。 ③ 職業人としての倫理観を有し、社会の持続的発展に資する主体的な行動力と社会諸課題解決への姿勢を身につけている。 ④ 経営の諸活動に関する課題を探求するための研究意識と経営活動の向上に資するための基礎的な調査方法や分析手法などの研究能力を習得している。 【人間学部】 ① 人文・社会・自然科学全般についての幅広い教養と、文化や保育・教育に関する基本的知識・技能を身につけている。 ② 文化や保育・教育に関する諸事象に関心をもって、必要となる情報を収集・分析し、その成果を的確に発信できる能力を身につけている。 ③ 社会の一員として求められる態度や志向性を身につけ、地域の文化振興や保育・教育の諸課題解決に主体的に取り組む能力を身につけている。 ④ 学習を通して得た知識や技能を総合的に活用し、文化や保育・教育の諸課題について実践的・創造的に考究する能力を身につけている。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページ）
（概要） 【理工学部】理工学部では、幅広い教養や理工学全般の知識に加え、専門性の高い知識及び情報の収集・発信に関する知識を主体的に修得すること、また、それらを科学技術業界や地域社会へ活用し、貢献できる人材の育成を目的とし、教養を養成する基本教育科目、理工学全般の基礎的な知識を養成する専門基礎科目、専門性の高い知識と技術、論理的な思考力を養成する専門展開科目を中心とするカリキュラムを展開する。 【経営学部】経営学部では、経営学全般の幅広い知識を主体的に修得し、それらを企業や社会の運営・管理に活用することのできる人材を育成する。この目的を果たすために、経営学全般の基礎的な知識を養成する専門基礎科目、専門性の高い知識と技術、論理的な思考力を養成する専門展開科目を中心にカリキュラムを展開する。 【人間学部】人間学部では、人間が創り出した文化と人間の原点である教育を柱とする人間の理解に関する知識を主体的に修得し、それらを活用して地域社会の発展と向上に貢献できる人材の育成を目的とし、文化、教育に関する基礎的な知識を養成する専門基礎科目、より専門性の高い知識と技術、論理的な思考力を養成する専門展開科目を中心にカリキュラムを展開する。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページ）
（概要） ［求める学生像］ 【理工学部】理工学部では、理工学分野に関連する基礎的な知識と技能を習得し、さまざまな科学技術の課題解決に主体的かつ創造的に貢献できる能力を育てるために、理工学分野に広く興味を持ち、それを探求したいという意欲とともに、次に掲げる能力・資質を有する者を受け入れることとする。 ① 高等学校で履修する教科・科目などを習得し、本学での修学に必要な基礎学力を持っている。 ② 物事を複数の視点から考察し、自分の考えをまとめ、それを表現できる能力を持っている。 ③ 社会の諸問題に関心を持ち、他者の意見も尊重しながら、主体的に学ぼうとする姿勢・態度を持っている。 【経営学部】経営学部では、経営学分野に関連する基礎的な知識と技能を習得し、現代社会の課題解決に主体的かつ創造的に貢献できる能力を育てるために、経営学分野に広く興味を持ち、それを探求したいという意欲とともに、次に掲げる能力・資質を有する者を受け入れることとする。 ① 高等学校で履修する教科・科目などを習得し、本学での修学に必要な基礎学力や技能を持っている。 ② 物事を複数の視点から考察し、自分の考えをまとめ、表現できる能力を持っている。 ③ 社会の諸問題に関心を持ち、他者の意見も尊重し、主体的に学ぼうとする姿勢・態度を持っている。 【人間学部】人間学部では、文化学・教育学分野に関連する基礎的な知識と技能を習得し、現代社会の諸課題解決に主体的かつ創造的に貢献できる能力を育てるために、文化・教育の分野に広く興味を持ち、それを探求したいという意欲とともに、次に掲げる能力・資質を有する者を受け入れることとする。 ① 高等学校で履修する教科・科目などを習得し、本学での修学に必要な基礎学力を持っている。 ② 物事を複数の視点から考察し、自分の考えをまとめ、それを表現できる能力を持っている。 ③ 社会の諸問題に関心を持ち、他者の意見も尊重しながら、主体的に学ぼうとする姿勢・態度を持っている。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：：ホームページ【情報公開】
(https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/about/disclosure/)

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a.教員数（本務者）

学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手その他	計
－	1人	－					1人
理工学部	－	27人	8人	0人	1人	1人	37人
経営学部	－	15人	2人	0人	4人	1人	22人
人間学部	－	19人	7人	1人	1人	1人	29人

b.教員数（兼務者）

学長・副学長	学長・副学長以外の教員	計
1人	88人	89人

各教員の有する学位及び業績（教員データベース等）	公表方法：【石巻専修大学研究者情報システム】 https://kjs.acc.senshu-u.ac.jp/isshhp/KgApp

c.ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）

本学ではFD委員会を設置し、学生による主体的な学びを実現するために、学生の学修状況を把握し、より一層の対話型の授業改善に努めると同時に、「教え」から「学び」へと教員の意識転換を促す教員セミナーを実施している。

授業評価の実施と改善に関して、「学生による授業評価アンケート」を年2回実施している。教員は、授業改善のためのPDCAサイクルとして、授業評価を継続、その評価を基にした自己省察「教員所見票」を作成・学内公開、学生へのフィードバックをし、授業改善による教育の質的向上を推進している。

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a.入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員(a)	入学者数(b)	b/a	収容定員(c)	在学生数(d)	d/c	編入学定員	編入学者数
理工学部	170人	142人	83.5%	680人	550人	80.9%	若干名	0人
経営学部	190人	152人	80%	760人	570人	75%		0人
人間学部	80人	66人	82.5%	320人	275人	85.9%		1人
合計	440人	360人	81.8%	1,760人	1,395人	79.3%	人	1人

（備考）

b. 卒業者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
理工学部	111 人 （100%）	5 人 （4.5%）	89 人 （80.2%）	17 人 （15.3%）
経営学部	82 人 （100%）	0 人 （　0%）	72 人 （87.8%）	10 人 （12.2%）
人間学部	59 人 （100%）	2 人 （3.4%）	49 人 （83.1%）	8 人 （13.6%）
合計	252 人 （100%）	7 人 （2.8%）	210 人 （83.3%）	35 人 （13.9%）

（主な進学先・就職先）（任意記載事項）

【理工学部】

東北電力ネットワーク㈱、日本電設工業㈱、ＮＴＮ㈱、㈱でん六、ジブラルタル生命保険㈱、㈱仙台水産、㈱八葉水産、㈱バイタルネット、㈱青南商事、新みやぎ農業協同組合、㈱日野ヒューテック、宮城車体㈱、㈱サワ、東北電子工業㈱、(財)東北電気保安協会、アンドロボティクス㈱、㈱ヨークベニマル、新庄市、宮城県教育委員会（中学・理科）、福島県教育委員会（高校・理科）他

【経営学部】

㈱カメイ、日通商事㈱、青山商事㈱、第一生命保険㈱、住友生命保険(相)、リコージャパン㈱、ヤマト運輸㈱、三井不動産東北リアルティ東北㈱、東北ポール㈱、サイバーコム㈱、宮城日野自動車㈱、福島トヨタ自動車㈱、㈱秋田銀行、柏崎信用金庫、パールライス宮城㈱、みやぎ生活協同組合、（学）仙台育英学園、（社）石巻観光協会、福島市消防、陸上自衛隊（一般曹候補学生）他

【人間学部】

石巻商工信用組合、いしのまき農業協同組合、㈱センティスト、宮城県乳児院（保育士）、(社福)矢本愛育会（生活支援員）、児童養護施設仙台天使園（保育士）、利府幼稚園、石巻市立釜保育所、南方保育所、錦保育園、結いのいえ保育園、栗原市（保育士）、奥州市（保育士）、宮城県教育委員会（小学校）、陸上自衛隊（一般曹候補生）他

（備考）

・学期末卒業者含む。（未卒確定者は除く。）

・その他 35 名の内訳は、就職活動中 11 名、次年度公務員受験 4 名、次年度進学 1 名、アルバイト・就職の意思なし 19 名。

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 （100%）	人 （　%）	人 （　%）	人 （　%）	人 （　%）
	人 （100%）	人 （　%）	人 （　%）	人 （　%）	人 （　%）
合計	人 （100%）	人 （　%）	人 （　%）	人 （　%）	人 （　%）

（備考）

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

（概要）
【再掲】
教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき各学部･学科の授業科目を編成し、当該年度に開講する授業科目については、全学及び学部教務委員会において計画策定を行っている。
年間の授業計画は、学事暦で定める実授業日数を踏まえ、年間の授業計画を立案し、学修時間の確保している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

（概要）
【再掲】
卒業の認定方針は各学部・学科で定めている教育目的及び人材の養成を踏まえ、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）と教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）と入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）との関連性を持たせ策定を行っている。卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）の公表については、学生便覧とホームページ上で公表している。
卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）で定めた学士力・資質・能力等は、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）により授業科目との関連付け、履修系統図・カリキュラムマップを作成し、学生に公表している。
また、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）の確認については、学修成果の評価の方針（アセスメント・ポリシー）に基づき、学生生活アンケートや卒業時アンケートを実施して、内部質保証の観点から検証を行うこととしている。

学部名	学科名	卒業に必要となる単位数	ＧＰＡ制度の採用（任意記載事項）	履修単位の登録上限（任意記載事項）
理工学部	食環境学科	126 単位	有・無	49 単位
	生物科学科	126 単位	有・無	49 単位
	機械工学科	126 単位	有・無	49 単位
	情報電子工学科	126 単位	有・無	49 単位
経営学部	経営学科	124 単位	有・無	44 単位
	情報マネジメント学科	124 単位	有・無	40 単位
人間学部	人間文化学科	124 単位	有・無	49 単位
	人間教育学科	124 単位	有・無	49 単位
ＧＰＡの活用状況（任意記載事項）		公表方法：ホームページ		
学生の学修状況に係る参考情報（任意記載事項）		公表方法：ホームページ		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：ホームページ【情報公開－校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること】
（https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/about/disclosure/）

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料（年間）	入学金	その他	備考（任意記載事項）
理工学部	食環境学科	968,000 円	230,000 円	353,000 円	
	生物科学科				
	機械工学科				
	情報電子工学科				
経営学部	経営学科	673,000 円		243,000 円	
	情報マネジメント学科	700,000 円		280,000 円	
人間学部	人間文化学科	700,000 円		313,000 円	
	人間教育学科	710,000 円		333,000 円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組

（概要）

本学は、学生を基本に据えた大学作りに向けて、すべての学生が学修に専念し安定した学生生活を送ることができるよう、修学支援・生活支援・進路支援からなる「学生支援に関する方針」にて、修学支援では次の事項を定めている。

①教職員一体となって、修学に対する相談・指導及び補習・補充教育の実施に取り組む。
②意欲ある学生に学ぶ機会を提供する。
③休・退学者の状況を把握し、適切な対応策を講じる。

これにより、本学では入学前教育、クラス担任制やゼミナール・研究室などの低学年から継続した学修指導体制、オフィスアワー制度、学習支援室など、入学前から卒業まで小規模大学だからこそ可能なきめ細かい少人数教育と学生サポートを行っている。

b. 進路選択に係る支援に関する取組

（概要）

本学は、学生を基本に据えた大学作りに向けて、すべての学生が学修に専念し安定した学生生活を送ることができるよう、修学支援・生活支援・進路支援からなる「学生支援に関する方針」にて、進路支援では次の事項を定めている。

①進路支援室において就職に関する相談や指導、進路ガイダンスの企画・運営を行う。
②就職資料室を設け、就職活動時に参考となる資料を閲覧できるようにする。
③学生の進路状況の把握や就職に関し、各教員に対し情報の提供・収集を行う。
④社会で必要となる基礎的・汎用的能力を育成するとともに、職業観・勤労観を醸成し、生涯を通した持続的な就業力が身につくように支援する。

これにより、ゼミナールや研究室の指導教員による指導・助言や進路支援担当職員が対応する時間無制限の個別相談、毎週開催する就職活動に必要な知識・スキルを学ぶ進路ガイダンスなどをとおして、学生が希望する進路をかなえられるよう対面、オンラインを活用してサポートを行っている。
また、学内で企業説明会を開催しているほか、毎年３月に本学学生のみを対象とした合同企業説明会を開催している。

c.学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

（概要）

本学は、学生を基本に据えた大学作りに向けて、すべての学生が学修に専念し安定した学生生活を送ることができるよう、修学支援・生活支援・進路支援からなる「学生支援に関する方針」にて、生活支援では次の事項を定めている。

①学生一人ひとりの人間的成長と自立を促すため、課外活動の支援と正課外プログラムの充実を図る。
②相談による支援を充実させるとともに、ハラスメントについては学生の人権尊重を基本に、相談機能を強化し、防止に向けた啓発活動を継続的に実施する。
③安全・安心で安定した学生生活の確保に向けて、事件、事故、災害等に遭わないための指導や対策を講じるとともに、家計急変や社会環境の変化等に応じた経済的な支援の充実に努める。

これにより、学生生活や健康、友人関係などの悩みを相談できる場所として「保健室」「学生相談室」を設置し、学生のさまざまな相談に対応している。

また「キャンパス・ハラスメント相談室」を設けキャンパス・ハラスメントの防止に努めるとともに、発生したキャンパス・ハラスメントに対して可及的速やかにキャンパス・ハラスメントによって乱された秩序を回復し、学生及び教職員にとって快適に学び、研究し、または働く環境を確保できるよう努めている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：ホームページ【情報公開－内部質保証に係る各種方針】
(https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/about/disclosure/)

（別紙）

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F104310100950
学校名	石巻専修大学
設置者名	学校法人専修大学

１．前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		222人	211人	230人
内訳	第Ⅰ区分	109人	110人	
	第Ⅱ区分	65人	62人	
	第Ⅲ区分	48人	39人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				230人
（備考）				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第４９号）第２条第１項第１号、第２号、第３号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

２．前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（１）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人		
修得単位数が標準単位数の５割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の５割以下）	－		
出席率が５割以下その他学修意欲が著しく低い状況	－		
「警告」の区分に連続して該当	0人		
計	－		
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（２）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）			
年間	－	前半期		後半期	

（３）退学又は停学（期間の定めのないもの又は３月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
３月以上の停学	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

３．前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（３月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

３月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

４．適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の６割以下（単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の６割以下）	―		
ＧＰＡ等が下位４分の１	35人		
出席率が８割以下その他学修意欲が低い状況	0人		
計	35人		
（備考） 重複該当者（－名）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。